連合山梨
〒400-0858　山梨県甲府市相生 2-7-17　☎055-228-0050　Fax055-222-1189

働くことを軸とする安心社会の実現に向けて

発行：2023 年 3 月

つながろう NIPPON 連合

連合山梨
RENGO-YAMANASHI

ごあいさつ

連合山梨会長
窪田　　清

連合は、働く者の環境整備・地位向上や社会貢献・平和・環境問題などの共通課題の前進を目指すことを目的に、これまで個々に運動を進めてきた労働4団体（総評、同盟、新産別、中立労連）が結集し、1989年11月に発足しました。そして、私たち連合山梨はその翌年1990年1月26日に発足し、時代と向き合いながらナショナルセンターとしての歩みを進めてまいりました。

「働くことを軸とする安心社会」という理想を実現すべく、日々、活動を続けておりますが、その活動範囲は非常に広範囲に及んでいます。連合の行動指針のひとつとしても策定されていますが、「平和・人権・福祉・環境・教育・安全に関する分野での社会貢献活動」にも、積極的に取り組んでいます。

コロナ禍に伴う課題の複雑化を始め、貧困と格差、加速する人口減少・超少子高齢化、脆弱な社会的セーフティネットなど、社会経済の持続可能性にかかわる課題が山積し、更に「カーボンニュートラル」や「デジタルトランスフォーメーション」など、環境の変化と厳しい組織環境下に置かれています。
この環境の変化を避け通ることは出来ませんが、とりまく諸課題を克服し、私たちが率先して運動の変革にチャレンジしなければなりません。そして、すべての働く仲間とつながり、連合の政策と運動を広く社会に発信し、共感と参画・行動の好循環を創り出していかなければなりません。

連合は、労働組合のナショナルセンターとして、広く働く者の立場に立った政策の前進と世論形成に努めてまいります。
さあ皆さん、私たちと一緒に、まずは一歩を踏み出し、共に前進して行きましょう。

連合は１９８９年に結成された
日本最大の労働組合のナショナルセンターです。

加盟組合員は全国約７００万人、連合はすべての働く人たちのために雇用と暮らしを守る取り組みを進めています。
山梨県内では、１５５の労働組合、約３０，０００名が連合山梨に加盟しており、２５の産業別労働組合のグループで構成されています。
また、県内３ヶ所に地域協議会を置き、地域のみなさまとの顔の見える活動や、組合員間の交流を進め、地域の諸課題に対して各市町村に政策提言を行なうなど、積極的な活動を展開しています。

健全な労使関係から企業の発展を目指し
すべての働く者が
安心して暮らせる社会を目指します

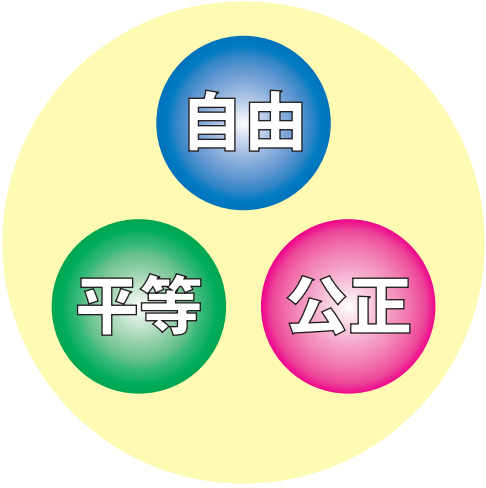
連合は健全な労使関係に立脚した労使交渉を基本に、経営者のみなさまとの相互理解と信頼関係による未来志向の労使関係づくりを進めています。

労使交渉や経営協議会などの話し合いを基本に、労使双方がお互いの立場の違いを尊重しながら、労働組合も責任を持って企業の発展とそこに働く者のしあわせを探求していきます。

企業の倫理や社会的有用性は
国民から厳しくチェックされる時代へ！
労働組合の声に耳を傾けることが企業防衛の基本

情報化社会の進展やインターネットの普及により、ひとつの誤った判断が会社を市場から退場させてしまう時代が到来しています。
会社を守ること、それは労働組合によるチェック機能であり、経営者と働く者の視点が融合すれば、労使双方が会社の置かれている状況を冷静かつ客観的に捉えることが可能となり、幾多の困難も眼前の大きな壁も、労使で知恵を出し合えば必ず乗り越えていけます。

日本の労働組合のナショナルセンターとして
社会から信頼される平和で民主的な
労働運動を目指します



連合は自ら綱領を掲げ行動指針を定めて、各種法令を遵守し社会的ルールにもとづいた近代的で公正・透明な運動と組織運営を行っています。
私たちは左右の全体主義を廃し民主主義を護り、労使自治に立脚した自由・平等・公正で平和な社会を目指し、社会から信頼されるナショナルセンターを目指しています。

連合山梨の組織と活動

連合山梨

三役 会議　会長・会長代行
副会長
事務局長・副事務局長

執行委員会　連合三役
執行委員
女性委員会二役
各地協事務局長

ユニオン
アドバイザー
○有期・短時間・
契約等労働者支援

産業別
労働組合
（産別）

スクラム
ユニオン

地域協議会

企業別組合
（単組）

地区協議会

専門委員会

組織対策委員会
●安全・環境対策　●地域協議会対策
●教育対策

政策・制度委員会
●県・市町村・政党への政策提言
●労働局・経済団体への要請行動
●政策・制度要求実現に向けた取り組み

中小対策委員会
●最低賃金の改善・引き上げ
●地域ミニマム運動の取り組み
●中小組織への支援活動

政治センター
●政治対応、活動全般

官公部門連絡会
●人事院勧告対応、公務のあり方議論

金属部門連絡会
●春闘・政策制度要求に関する取り組み
の議論

交通・運輸部門連絡会
●政策提言、事業課題解決に向けた取り組み

青年委員会
●次代を担う役員育成、各種学習

組織拡大委員会
●組織の拡大・強化　●労働組合づくり
●なんでも労働相談

ジェンダー平等推進委員会
●男女平等に関する取り組み
●ポジティブアクションの推進
●学習会による啓発活動

総務財政委員会
●財政運営・総務全般

フェアワーク推進センター
●有期・短時間・契約等労働者支援

女性委員会
●女性の参画と活躍推進

編纂委員会
●ホームページ・ニュース発行

連合山梨構成組織

	略　称	組　織　名	郵便番号	住　　所	電話番号	単組
1	自治労	自治労山梨県本部	400-0858	甲府市相生2 - 3 - 19　ナトリビル 4階	055-222-5200	40
2	電機連合	電機連合山梨地方協議会	400-0032	甲府市中央 1-12-42　甲府法曹ビル 5B	055-232-0102	16
3	UA ゼンセン	UAゼンセン山梨県支部	400-0027	甲府市富士見1 - 12 - 12　小泉ビル1F	055-254-1135	30
4	日教組	山梨県教職員組合	400-0031	甲府市丸の内3 - 33 - 7　教育会館3階	055-222-1541	1
5	JAM	JAM甲信山梨県連絡会	400-0495	南アルプス市宮沢160　TDK 労組甲府支部内	055-283-8555	9
6	JP労組	JP労組山梨連絡協議会	400-8799	甲府市太田町6 - 10　日本郵便甲府支店内	055-235-5245	1
7	電力総連	山梨県電力総連	400-0031	甲府市丸の内1 - 10 - 7　東電労組内	055-215-5290	7
8	情報労連	情報労連山梨県協議会	400-0867	甲府市青沼1 - 12 - 13　NTT労組山梨分会内	055-235-3385	6
9	自動車総連	自動車総連山梨地方協議会	400-0845	甲府市上今井町706　甲斐日産自動車労組内	055-241-2323	9
10	運輸労連	運輸労連山梨県連合会	400-0031	甲府市丸の内2 - 26 - 1 全日通東京支部山梨県協議会内	055-222-2235	5
11	全水道	全水道山梨県支部	400-0046	甲府市下石田2 - 23 - 1　甲府水道労組内	055-228-3865	2
12	私鉄総連	山梨県私鉄労働組合連合会	403-0017	富士吉田市新西原1 - 2 - 2 富士急行労組内	0555-22-2926	1
13	JR総連	JR東労組甲府支部	192-0904	東京都八王子市子安町 1-14-15 JR東労組　八王子地本	042-649-8965	1
14	フード連合	フード連合山梨地区協議会	—	※事務所は単組の持ち回り	—	8
15	JR連合	JR連合山梨県協議会	409-0904	南巨摩郡身延町角打 1331-1	03-6718-1252	1
16	基幹労連	基幹労連山梨県センター	407-0035	韮崎市大草町下条西割 1200 三井金属ダイカスト労組内	0551-23-3271	1
17	ゴム連合	ゴム連合・イノアック労組	409-3611	西八代郡市川三郷町大塚 700 イノアック労組東日本分会内	055-272-2111	1
18	国公総連	国公総連関東・山梨県連合会	400-0031	甲府市丸の内1 - 1 - 18　甲府合同庁舎10階 関東農政局甲府地域センター内	055-254-6041	2
19	全自交	全自交山梨地方連合会	400-0049	甲府市富竹1 - 8 - 16 山梨 YK タクシー労組内	055-287-9316	1
20	NHK労連	NHK労連日放労甲府分会	400-8552	甲府市丸の内1 - 1 - 20　NHK甲府放送局内	055-255-2143	1
21	政労連	政労連山梨地方連絡会議	400-0854	甲府市中小河原町403 - 1 雇用労山梨支部内	055-242-3066	3
22	全労金	中央労金労組山梨統括支部	400-0031	山梨県甲府市丸の内 3-32-11 住友生命甲府丸の内ビル2階	055-232-6045	1
23	全国ガス	全国ガス山梨	403-0004	富士吉田市下吉田 6-5-1	0555-22-2161	1
24	労済労連	全労済労組関東支部山梨分会	400-0031	甲府市丸の内3 - 29 - 12 こくみん共済 coop 山梨推進本部内	055-237-6861	1
25	森林労連	森林労連林野労組山梨分会	400-0021	甲府市宮前町7 - 7　山梨森林管理事務所内	055-251-9247	1
26		連合山梨スクラムユニオン	400-0858	甲府市相生2 - 7 - 17　連合山梨内	055-228-0050	1
27		山梨交通労働組合	400-0049	甲府市富竹1 - 10 - 33	055-228-4477	1
28		富士急バス労働組合	403-0031	富士吉田市浅間2 - 9 - 12 2号棟202号室	080-5181-0280	1
29		山梨交通甲府観光労働組合	400-0123	甲斐市島上条914	055-277-1600	1

連合山梨の主な活動

企業内組合だけでは解決できない働く者全体のしあわせを求めて

労働組合の目的は、働く人たち全体の雇用と暮らしを守ること、そして職場や地域社会に根ざした運動による国民全体の理解を進めていくことです。

それぞれの労働組合は職場で企業経営者と交渉や協議を行なっていますが、それだけでは解決出来ない大きな課題、たとえば雇用のルールや最低賃金、年金・医療などのセーフティネット、子育てと仕事の両立支援、介護休暇などのワーク・ルールなどへの対応も重要な課題です。

私たち連合は安心して暮らせる社会の実現に向けて政策・制度への取り組みを中心に働く者の立場からの意見を反映させるため、ナショナルセンターとして活動を展開しています。

◯労働条件向上への取り組み

◇春季生活闘争による賃上げ
◇労働基準法など関係法令の充実・拡大
◇最低賃金引き上げの取り組み

◯男女平等参画等ジェンダー平等の推進

◇女性の活躍を推進する取り組み
◇職場・社会におけるジェンダー平等の推進
◇「クリティカル・マス」「ポジティブ・アクション」の推進

◯政策・制度への提言と参画

◇県や市町村に対する政策提言の実施
◇審議会・懇話会等行政に対する積極参加
◇労働局・経済団体への要請
◇労働災害根絶への対応

◯労働者福祉

◇医療・介護保険制度の見直し拡充
◇安心できる年金制度
◇共済制度の加入促進と充実
◇金融機関との連携による生活支援

◯環境問題への対応

◇「環境パートナーシップやまなし」と連動した取り組み
◇SDGｓ取り組みへの積極的な参画

◯中小企業で働く人のために

◇中小企業の賃金を引き上げる活動
◇地域ミニマム運動の推進
◇県内基幹産業に対する支援要請
◇地場産業の活性化に向けた取り組み

◯教育問題への対応

◇教育環境の充実
◇教育格差の解消
◇少人数教育の充実

◯ボランティア活動

◇連合愛のカンパの取り組み
◇フードドライブボランティア活動
◇歳末寄付活動・福祉施設への寄付

◯国際活動

◇四川省総工会との交流
◇経営者協会との国外企業視察
◇連合関東ブロック海外視察行動

◯その他

◇なんでも相談ダイヤルの実施
◇組合づくりのお手伝い
◇平和運動への参画・推進

連合山梨の活動

連合山梨は、１４の専門委員会を設置し、日々の活動を展開しています。
また、経営者協会との共催事業や県・市町村の審議会等にも積極的に関わり、勤労者・生活者の視点を大切にした様々な取り組みを行なっています。

連合山梨メーデー

政策・制度の提言

山梨県知事への提言

経営者団体への要請行動

各委員会の活動

ボランティア活動

ジェンダー平等セミナー

連合山梨の活動

普通救命講習

女性のための労働相談

親子ものづくり教室

各種 PR 活動

平和行動

やまなし

連合山梨の活動

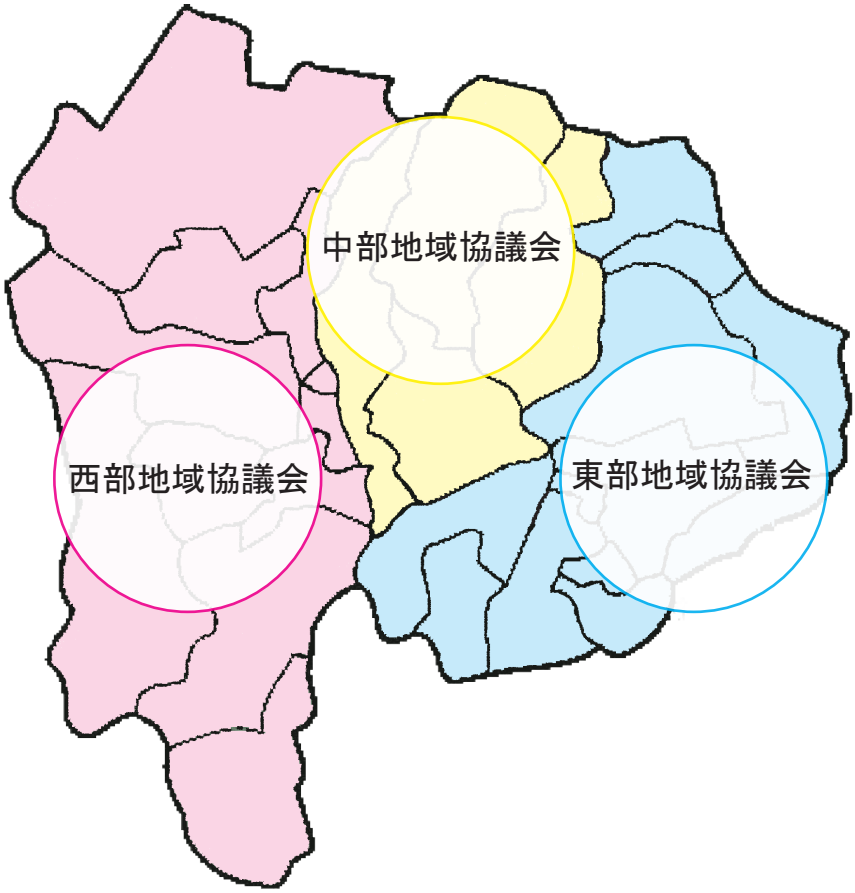
沖縄

広島

長崎

根室

地域における活動（地域協議会・地区協議会）



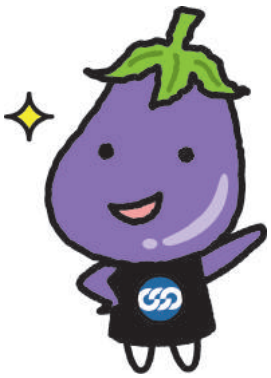
企業経営者のみなさまへ

労働関係法令の遵守と労働組合

労働者を雇用して使用する場合において、労働基準法や労働契約法などによる労働条件に関する法律を遵守する必要があります。

また、労使関係に関する法律として労働組合法や労働関係調整法などによって労働組合を結成することは法律で認められています。

昨今報道を賑わせている企業の不祥事や、大幅に基準を超えて働かせるいわゆるブラック企業などについて取り上げられていますが、企業倫理やコーポレートガバナンスを見失った企業は世論からの厳しいバッシングを受け、市場の支持を失って退場することとなります。



そこに働く社員の意見は企業飛躍の原点

企業の経営者のみなさまからは、「しっかりと利益を出して社員にも還元し、福利厚生もしっかりやっているから社員に不満はないはず」「当社には労使の問題は存在しないから労働組合は必要ない」と自信を持って話される方もいます。

しかし、社員やその家族がみなさまの会社に対して全体として満足していると捉えていても、ひとりひとりの社員とは、経営者に対して弱い立場であること、人事権をもつ経営者に苦言や意見を述べることの難しさについて、ぜひ社員の立場に立ってもう一度考えてください。

社員はきっと会社の将来についても希望や期待があっても「どうせ自分ひとりの意見なんか」とあきらめているかも知れません。

労働組合（連合山梨）は企業と共に発展を目指す最良のパートナー

労働組合はわが社には必要無いと言われる経営者の皆様の意見に多いのは、①「紛争を持ち込んで会社の秩序を乱すのでは」、②「何でも反対する団体で何をされるかわからない」、③「自らの主張だけを繰り返して会社の経営状況を省みない」、といった労働組合に対する負のイメージが強いことが伺えます。

残念ながら労働組合には様々な団体があり、それぞれが独自の思想や考え方を持ち、国家のあり方までの違いを示していますが、私たち連合山梨は、全国最大の労働組合のナショナルセンターの一翼として、企業との共存共栄はもちろん、企業と共に発展していくことを目指した労働組合であり、経営をはさんだ最良のパートナーとして、対話と交渉を重視し、相互理解と信頼関係を基礎に良いときも悪いときも共に企業の将来を展望できる唯一の存在と考えています。

産業別組合で横の情報交換を活発に

私たち連合は、個別企業の労働組合（単組）を基本に同一事業体を束ねた産業別労働組合を結成しており、同じ業種同士の抱える課題の解決に向けた努力を続けています。また、各企業の労使を集めた学習会を開催するなど交流を深めるとともに、地方議員や県議会などへの政治対応、行政機関などに対する働きかけや提言も積極的に行なっています。

連合加盟は優秀な人材確保への第一歩

近年のインターネットやモバイル端末の普及により、学生は従来に比べ多くの企業情報を簡単に得ることが可能となる一方、企業の口コミや評価を掲載するサイトが定着するなど取り巻く環境は大きく変化してきています。

採用希望者は、これまでの求人情報による基本的な雇用条件や給与、福利厚生などに加え、休暇はどのくらい取れるのか、残業は多くあるのか、またしっかり残業代は支払われるのか、妊娠しても働けるのか、といった情報を自ら収集して比較・検討しているのが実態です。

いわゆるブラック企業が社会の注目を浴びることとあわせ、その企業にはしっかりとした「労働組合」があるのか？が企業選びの重要なファクターであり、現在の学生の職業選択のトレンドになりつつあります。

労働組合が存在することは、「企業の安心感、そして信頼感に大きく寄与していることをぜひ受け止めていただきたい」と私たちはそう考えています。

ご存知ですか？労働組合と生産性の関係

労働組合があり、安定した労使の信頼関係で生産性は２０%向上

労働組合について理解は出来るし、社会的にも必要だとわかっていても労働組合の結成に対して躊躇してしまう経営者の皆様も多くいます。

その最大の理由は、組合が出来ると給与などを上げるよう求められてしまい、支出ばかりが増えて会社が立ち行かなくなってしまうのではないか、また、法的にも権利についても理解はするが、言うことばかり聞いていたら作業効率が落ちコスト高になってしまうのではないか、こんな心配の声も多く寄せられています。

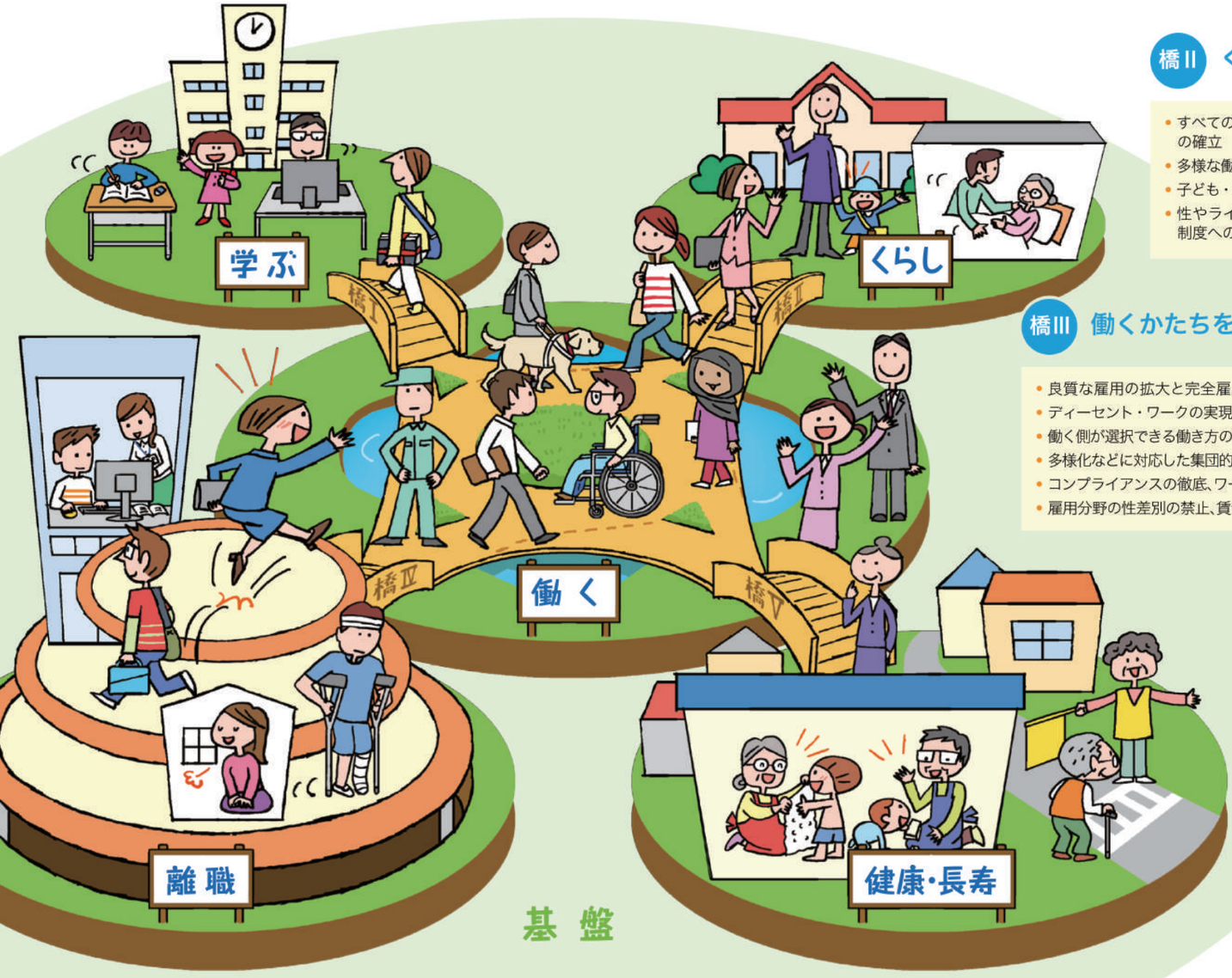
しかし、日本経団連が発表した経営労働政策特別委員会報告において、労働組合が組織されている企業の労働生産性は労働組合が無いところより約２０%も高いとのデータが発表されており、良好で安定した労使コミュニケーションを強化し、労使間での議論を通じて労働生産性の向上を図って競争力強化に努めることが望ましいとまとめています。

働くことを軸とする安心社会

ーまもる・つなぐ・創り出すー

私たちが未来を変える

連合がめざす社会は、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会です。加えて、「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性、国籍の違い、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会です。その実現に向けて、「働くこと」につなげる５つの安心の橋を整備していくことが求められています。



橋Ⅰ 学ぶことと働くことをつなぐ

- すべての子どもたちに学ぶ機会の保障、教育の無償化
- すべての子どもを包摂する教育の推進
- 労働教育のカリキュラム化の推進
- 連帯、共生による発展をめざす教育の充実
- 学ぶ場から働く場への円滑な移行のための環境整備
- 生涯を通じて学び続けられる環境の整備

橋Ⅱ くらしと働くことをつなぐ

- すべての人が働き続けられる公平・公正なワークルールの確立
- 多様な働き方・生き方が選択できる社会の構築
- 子ども・子育て、介護を社会全体で支える仕組みの構築
- 性やライフスタイルに中立的な税制や福祉・社会保障制度への改革、居住・医療保障の確立

橋Ⅲ 働くかたちを変える

- 良質な雇用の拡大と完全雇用の実現
- ディーセント・ワークの実現
- 働く側が選択できる働き方の多様化の実現
- 多様化などに対応した集団的労使関係システムの構築
- コンプライアンスの徹底、ワークルールの整備
- 雇用分野の性差別の禁止、賃金格差の是正、男女平等の実現

橋Ⅳ 離職から就労へつなぐ

- 職業訓練と公正な能力評価、雇用のマッチング機能のパッケージ戦略の構築
- すべての労働者に雇用保険と社会保険を適用
- 離職者や就業経験の少ない人への支援制度の拡充
- 「生活保障給付」制度の確立
- 住居と医療の確実な保障

橋Ⅴ 健康・長寿社会をつくる

- 誰もが希望すれば生涯にわたり働き続けられる社会の構築
- 社会的貢献など「働くこと」の幅広い選択肢とアクセスを保障
- 安心と信頼の所得保障制度の整備・普及
- 健康で長生きできるための医療・介護保障

基盤 「働くことを軸とする安心社会」を支える基盤

- 公正・公平な信頼のおける政府の確立
- 所得再分配機能の強化、分かちあいの社会の実現
- 企業の社会的責任の履行促進と生産性運動の深化
- グリーンでディーセントな産業・雇用の創出と持続的成長
- 自然災害への備えと人口減少・超少子高齢時代の地域社会づくりの推進

私たちを知ってください

連合公式ホームページ
http://www.jtuc-rengo.or.jp/

連合山梨ホームページ
http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/

Facebook
Instagram 共用

運動を支える関係団体

山梨県労働者福祉協会（労働者福祉協会中央協議会）
ろうきん山梨県本部（中央労働金庫）
全労済山梨推進本部（全国労働者共済生活協同組合連合会）

連合山梨へのアクセス

連合山梨　なんでも相談ダイヤルへ

☎0120-154-052

いこうよ　れんごうに